

(別紙様式) (A3判横)

平成26年度 学校自己評価システムシート (県立浦和高等学校)

目指す学校像	尚文昌武の理念のもと、時代の求めるリーダーの育成を目指す。
--------	-------------------------------

重点目標	<p>1 互いの信頼関係のもと、自走する生徒集団づくりをとおして、目指す学校像の実現に取り組む。</p> <p>2 生徒に、第一志望はゆずらない、との堅い信念を持たせ、全ての職員が全力をあげて生徒一人一人の進路実現に取り組む。</p> <p>3 保護者・県民に対する情報提供をとおして、開かれた学校づくりを推進するとともに、浦和高校の良さを積極的に発信する。</p>
------	---

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標				年 度 評 価 (4 月 2 1 日 現 在)				
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	達成	次年度への課題と改善策		
1	高校入学段階で、主体的に行動できる生徒が少なくなっている現状では、自走(自立)を待つ指導ではなく、自走を促す指導が必要である。各年次において「守・破・離」の理念を意識した指導の研究と実践が必要である。	自走する生徒集団づくりをとおしたリーダー育成の推進	<p>ア 授業への集中、早朝・部活後学習、時間・モノの管理、週番会、挨拶、清掃、部活動、行事等を主体的に行えるように促す。</p> <p>イ 仲間と協力し合って学習し、修学旅行をはじめとする行事を創り上げる生徒集団を育成する。</p> <p>ウ 授業や部活動や学校行事で得た仲間を主体的に行動する集団へと進化させ、個々の人間的成長を促す。</p>	<p>ア 年度末に実施するアンケートにより、主体的に取り組めたという回答がほぼ7割を超える。</p> <p>イ 年度末アンケートで主体的に取り組めたという回答が7割を超える。</p> <p>ウ 卒業生アンケートで「ともに頑張る仲間の存在」や「学習をとおした人間的成長」を感じた生徒が7割を超える。</p>	A	<p>ア 一部に受動的な考え方や自己中心的な行動をする生徒がいるので、適宜注意を促していきたい。</p> <p>イ 部活動や学校行事と同様に、学習にも仲間とともに主体的に取り組めるよう、授業や面談、進路だよりや年次通信などでさらに働きかけていきたい。</p> <p>ウ 年次の集団力の向上とともに、生徒ひとりひとりの成長を促す工夫と教員間のより緊密な情報交換が必要である。</p>	学校関係者からの意見・要望・評価等 生徒が学校内外でよく挨拶をしてくれるのは素晴らしい。教員や上級生が範を示しているのだから。地域としても浦高生の公共心には感心している。今後もバックアップをしていきたい。自主・自立・自制がキーワードではないか。週番会がそのベースになると思うので、今後もしっかりと機能させてほしい。	
2	以下の観点による授業改革及び教員の経験の蓄積・共有を更に推進する必要がある。 ①学習姿勢の、依存型から自主型への転換 ②各教科・科目の基礎基本の早期徹底、及び書いて考える力の育成 ③大学入学後までも見据えた高度な授業内容 ④SGHの趣旨をふまえ、グローバル化社会を視野に入れた志の育成併せて、多くの生徒が目指す国公立大学進学を現役で実現させるための学習指導・進路指導が必要である。	指導力の向上と、生徒の主体的な学習習慣の確立を促す授業改善の推進 高い志を育成し、進路実現を支援する取組の推進	<p>ア 授業研究のための、教員同士による授業公開の実施(1ヶ月の授業公開期間を年2回設定)、及び教科毎に授業検討会を実施する。</p> <p>イ 生徒の成長を促すための、生徒による授業評価(アンケート)を実施し、各教科の授業改善に生かす。</p>	<p>ア 年2回合わせて、のべ140人が授業を見学、及び各教科年2回以上の授業検討会を実施する。</p> <p>イ 教科(科目)ごとに作成した授業評価アンケートを年1回以上実施し、各教科(科目)でまとめ、授業に主体的に取り組めたという回答が7割を超える。</p>	B	<p>これまで積み重ねてきた教科指導の良い点を引き継ぎながら工夫・改善し、授業の充実を図ることが大切である。授業研究を更に推進し、教科間の連携を図りながら、生徒の主体的な学習習慣の確立を促す授業改善をより一層推進していく必要がある。</p>	授業改善の取組に対する具体的なイメージを教員間で共有する必要がある。最終的には自主型への転換という目標はもちつつ、協調学習や先進校視察などの取組を受けて教員それぞれが教え方についての議論を深めてほしい。	
3	HPや教育活動説明会、土曜公開授業などを通じて情報発信を行ってきた。本校の様々な取組や成果について、より積極的かつ組織的に情報を発信することにより、中学生の保護者をはじめとする県民のニーズに応える必要がある。	開かれた学校づくりの推進	<p>ア 全教職員による組織的・計画的な広報活動の展開</p> <p>イ 保護者・県民に向けた土曜公開授業の実施</p> <p>ウ HPを活用した情報公開および利便性の向上</p> <p>エ 小中学生・保護者・教育関係者向けの説明会の実施</p> <p>オ 学校情報提供の機会を積極的に活用</p>	<p>ア 広報委員会主催の行事を滞りなく実施する。</p> <p>イ 土曜公開授業をのべ2000人が見学</p> <p>ウ 新規アクセス数10万回以上</p> <p>エ 学校の他に公共施設も利用し、本校主催の教育活動説明会を2回開催、のべ1500人が参加</p> <p>オ 本校主催以外の説明会等に教職員を派遣し、のべ2000人に本校の紹介、説明を行う。</p>	A	<p>ア 入学者選抜の周知、学校紹介行事の企画、運営ができた。</p> <p>イ 土曜公開授業をのべ3,076人の保護者、県民が見学した。</p> <p>ウ 2/4現在、新規アクセス数636,437回に達した。</p> <p>エ 2回の説明会合わせてのべ2,200人が参加した。(第1回:1,300人、第2回:900人)</p> <p>オ 各種教育関係事業・機関等の合同説明会で、のべ3,400人に本校の紹介、説明を行った。(塾主催の説明会参加者と、彩の国進学フェアの資料配布状況からの概算)</p>	<p>全人教育を目指す浦高教育の良さを、さらに県内外へ広報していく。発信するコンテンツのより一層の充実をはかる。</p> <p>委員会での仕事分担を検討し、全員での協働体制のもと運営できるように改善する。</p> <p>多くの先生方に協力してもらえるように、広報委員会が主催する行事の日程や内容を改善する。</p>	HPの更新の早さ、多さは素晴らしい。始業式・終業式などの校長の言葉もすぐに更新されていて、参考になる。在校生が感じる男子校の良さをもっとアピールしてもよいのではないかと。今後も積極的に情報提供を行ってほしい。

